



第10回年次大会開催

10月23日(日)群馬建設会館において第10回年次大会を開催しました。年次大会は、昨年の第9回定期大会で決定された活動方針を基に、第9期前半期の活動を総括する中で、環境変化による新たな課題を補強し、基本目標「すべての県民が安心して暮らせる地域社会の実現を目指す」ため、第9期目標の定着・強化・発展に向けて4項目の課題設定を行いました。

- ① 社会的な影響力を高める
- ② 地域に目に見える活動強化
- ③ 未組織労働者への支援を強化する
- ④ 労働運動の存在価値を高める

そして、第9期後半期の具体的な活動目標をはじめとする活動計画が提案され、満場一致で確認されました。



**現状に留まることは増
停滞することと同様
変化し続けることが必要!!!**

〈会長あいさつ抜粋〉

第9期を迎えるにあたって、「県民に信頼され頼りにされる活動」、「職場と地域社会に目に見える活動」と「日常活動」の3本の柱を軸として、県連合・産別・地協の役割を確認してきた。今大会では前半期の活動の点検と、後半期の活動に向けてブラッシュアップしたい。

まず、「県民に信頼され頼りにされる活動」では、政策制度の実現や雇用対策を中心に県・労働局・経営者協会との連携を強化し、各方面から信頼される活動が求められている。また、組織拡大の取り組みは、私たちの活動が地域社会で存在感を示し、また、共感を抱いてもらえる活動が望まれる。

次に「地域社会に目に見える活動」では、連合の中心的な取り組みでもあるぐんまふれあいフェスティバルについて、関係団体との連携の強化を図りながら、その意義についてより理解を深める必要がある。

日常活動では、先の総選挙において産別・地協と連携の中で衆議院議員を誕生させたことは評価し合いたい。しかし、活動の進め方については整理する必要がある。

私たちを取り巻く環境はかつてないほどのスピードで変化をしている。現状に留まることは停滞と同様であり、変化をし続けることが必要である。第9期前半を総括し、変えるところは変え、足元をしっかりと固めて後半期の仕上げに向けて全力で活動を進めていきたい。



また、「友好参加組織の会費取り扱い」や「雇用労働者ねらい撃ちの増税を許さない特別決議」が提案され満場一致で確認されました。

最後に、新副事務局長2名の交代を含めた、2006年度新執行体制を確認しました。



左：川村議長 右：反町議長